

平成29年度事業報告書

1. 事業の状況

(1) 男子学生の収容

平成29年度は4月に5名（I君：東京大学教養学部1年、S君：明治大学政治経済部1年、K君：東京農大国際食糧情報学部1年、Y君：東京農大地域環境科学部1年、K君：東京大学大学院総合文化研究科博士課程1年）が入寮し、寮生は14名で満室。上記以外に東京理科大学、日本大学、早稲田大学など、東京都下の大学生、大学院生です。この中には、中国人1名（一粒奨学生F君）、アメリカ人1名（一昨年10月から一粒奨学生として入寮したA君）、韓国人1名の留学生（昨年4月に入寮したK君）（いずれも大学院生）が含まれており、国際色豊かで有意義な共同生活を送ることができました。

(2) 聖書研究集会の開催

春風学寮創設の目的に沿うため、寮長の森山浩二が聖書研究会を主宰し、寮長の森山浩二が原則として月に2回担当し、その他、理事長の千葉眞氏、学寮先輩の中村陸郎氏、島創平氏、木村護郎氏、春日久紀氏や次期寮長予定者の小舘美彦氏、寮長の友人である小田弘平氏、山田寛人氏などの協力を得ました。夏、冬、春の休寮期を除いて、毎週日曜の午前の朝9時より1時間半開催しました。出席者は、本寮の学生および寮長夫妻と、友人、学寮先輩です。

(3) 感謝祭（寮祭）の開催

88年目を迎え、本年度も恒例の春風学寮感謝祭（寮祭）を4月29日に開催しました。そのため、参加者52名（在寮生で、大学、大学院の授業があり、参加できなかった者2名がいたのは残念）。卒寮生の董光哲「中国と日本と私」、春日久紀「春風学寮で生涯の宝として得たもの」と題して講演していただきました。寮生は4月に入ると役割分担を決め、前日は夜、皆で大掃除をしたり、会場づくりなど協力して行いました。学寮祭当日は「受付」や「会場」係など裏方の仕事に協力し、先輩方との交流によって、貴重な学びと社会人になるための良き体験ができました。寮生はこれらのことを通して、春風学寮生としての自覚を持ったようです。

(4) クリスマス祝会の開催

例年通り恒例のクリスマス祝会を12月17日（第3土曜日）午後6時から9時半で行いました。Ⅰ部はクリスマス礼拝。講師は、卒寮生で上智大学教授の木村護郎クリフトフさんによる、「神、我らと共にいます」と題してクリスマスメッセージを語っていただきました。Ⅱ部は寮母・賄いの方々の美味しい食事を含む余興（寮生の演奏やゲーム、

落語、フェンシングの演技など）を行いました。来賓や学寮の先輩、お世話なっ

る方、寮生を合わせて45名の参加者で楽しい時を過ごしました。

(5) 留学生の支援

中国・アメリカ・韓国からの留学生3名を奨学援助いたしました。(1名の中国人と1名のアメリカ人留学生、9月から在寮生の韓国人留学生が、一粒奨学生として承認されています。)

(6) 読書会の開催

本年は1回、4人の新寮生と共に、春に、内村鑑三『後世への最大遺物』(岩波文庫)、読書会を行いました。

(7) 講演会・先輩から話を聞く会の開催

寮長が行っている月一回の学習会で、年2回特別講演会を学寮との共催として行いました。平成30年1月20日(土)に、青山学院大学教授の羽場久美子先生に「EUから見たこれからの東アジアと日本」、そして、平成30年3月17日(土)に、自然農法家・愛農会会長の村上真平氏が「3.11福島原発事故から7年」と題して講演会を催し、この講演会に寮生有志も参加いたしました。

(8) 寮生の教育的活動(訪韓の旅、中国東北部への研修旅行)への援助と福利厚生

夏と春の中高校生聖書講座に参加した寮生に、参加費用の半額を補助した。また、平成30年2月17日から21日に行われた「日韓青年友和の会」主催「訪韓の旅」(4泊5日)に一人参加したが、費用の半額を補助した。そして、春風学寮の創設者道正安治郎先生が学寮創設前に満鉄で働いておられた中国東北地方(大連、長春、ハルビン、瀋陽)の歴史の旅を、平成29年8月28日(月)から9月2日(土)の5泊6日間、春風学寮主催として行い、寮生参加者の旅費の一部を学寮の福利厚生費などから補助した。参加者は14人で、クラブやその他の理由で日程が合わず、残念ながら在寮生は数人の不参加がありました。その他卒寮生とその寮長夫妻などで、短い期間ではあったが貴重な歴史の学びの旅となりました。特に、長春では、学寮の「一粒奨学生」であった、東北師範大学の中国人卒寮生とその教え子大学院生5人が同行してくれ交流ができました。彼は「一粒奨学金のお蔭で博士課程を卒業でき、今の私がある」と感謝していました。この旅の報告を『春風学寮「中国東北・歴史の旅」』として寮費から支出し作成しました。卒寮生や関係者に配布予定。

(9) 春風学寮ホールの有効利用について

本学寮のホールは、主に学寮の日曜日の聖書集会を始め、学寮の諸行事で使用されるが、本学寮の理事が代表の「多摩家庭集会」という聖書を学ぶ会が月1回日曜日の午後使用し、

寮長主催の「現代社会学習会」（地域の住民も参加）を月1回行い、ホールを使用しました。

2. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	担当	現職
評議員	浅野勝弘	平成28.4.1		浅野塾理事長
評議員	春日久紀	〃		前(株)メタルワン鋼管部
評議員	木村護郎	〃		上智大学教授
評議員	谷 博行	〃		自由学園講師
評議員	増田明彦	〃		増田ビル
理事	諏訪 基	平成28.4.1		国立リハビリセンター研究所
理事	千葉 眞	〃	代表理事	国際基督教大学特任教授
理事	中村陸郎	〃		斎藤病院副院長
理事	眞方忠道	〃		神戸大学名誉教授
理事	増田信彦	〃		元大蔵省勤務
理事	本川達雄	〃		東京工業大学名誉教授
理事	森山浩二	〃	寮長	元恵泉女学園中学・高校教諭
監事	殿木 輝	平成28.4.1		殿木会計事務所・所長

※ 手当はどの役員もない。

(2) 評議員会、理事会の開催

平成29年4月29日	第一回評議員会開催
平成29年6月11日	第一回理事会開催
平成30年2月11日	第二回評議員会開催
平成30年3月11日	第二回理事会開催